

講演会

男女共同参画の視点から 防災を考える

～被災地の元区長が語る3.11とこれから～

東日本大震災では、避難所において衛生用品等の生活必需品が不足したり、授乳や着替えをするための場所がなかったりといった事態が発生しました。こうした教訓を踏まえ、今回は、震災当時、仙台市宮城野区長を務められていた木須八重子さんを講師にお迎えして、被災の様子や当時の体験、これからの地域における男女共同参画の視点をとり入れた防災の在り方や地域づくりの重要性についてお話いただきます。



木須 八重子さん 公益財団法人 せんだい男女共同参画財団 理事長

◆講師の紹介 木須 八重子 (きす やえこ) ◆

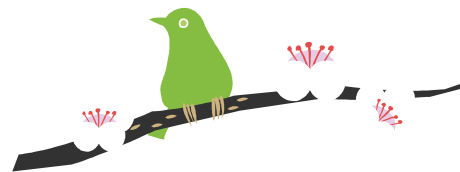
1978年仙台市役所入庁。

生涯学習、男女共同参画、総合計画、市民協働、環境などを担当。

2010年4月～2012年3月 仙台市宮城野区 区長

東日本大震災発生時は、宮城野区災害対策本部長として、被災者支援の初動時対応から、仮設住宅移転、集団移転に向けたコミュニティ形成などに取り組む。

2013年4月 仙台市役所退職後、現職



日時

2014年 **2月12日** **水** 開演 18時30分～20時

場所

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム

定員

50名 (先着)

※託児有 6カ月以上就学前まで(1人500円) 要予約

入場無料

申込み・問合わせ

電話、Webサイト、下記QRコード、FAXで受付

- ①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号
- ④託児希望の方は子どもの氏名・月齢をお知らせ下さい。

(申込み1回につき4名まで。要全員の氏名)

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

TEL(093)288-6262

FAX(093)583-5107

